

# 総合英語 A II

科目責任者 坂本洋子  
学年・学期 1 学年・2 学期

## I. 前 文

英語で情報収集を行い、適切な英語表現を行うことは、医師にとって重要なスキルの一つである。本講義では、学期ごとに異なるテーマで英語を総合的に学び、英語の論理展開やプレゼンテーションスキルなどを修得する。

## II. 担当教員

William Hassett

Chris Smith

John McInnes

## III. 一般学習目標

本講義では、学期ごとに異なる3つのテーマで学習を行う。

- ・ TOEFL Intensiveでは、英語圏の大学で使われる講義や学生生活についての英語表現を学習する。
- ・ Communicative Englishでは、英語で意思疎通を行うための会話表現や英語圏の文化について学習する。
- ・ Presentationでは、プレゼンテーションを行う時の英語表現やマナーについて学習する。

## IV. 学修の到達目標

- 1) 英語圏の大学で使われる講義や学生生活に関する英語表現を身に付ける。
- 2) 日常会話表現を身に付ける。
- 3) プレゼンテーションスキルを身に付ける。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業形式 (事前学習用動画等の教材を前もって配付する。原則として授業中に事前学習の内容に関する小テストを行い知識の確認を行う。))

2: ディスカッション 3: グループワーク 4: 実習 5: プレゼンテーション 6: その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	8	27	金	2	Introduction / A new product	William Hassett Chris Smith John McInnes	1, 2, 3, 5
2		27	金	3	Introduction / A new product		1, 2, 3, 5
3	9	3	金	2	Module 1 Review / Presentation skills 1		1, 2, 3, 5
4		3	金	3	Module 1 Review / Presentation skills 1		1, 2, 3, 5
5		10	金	2	Module 1 Practice Test / Presentation 1		1, 2, 3, 5
6		10	金	3	Module 1 Practice Test / Presentation 1		1, 2, 3, 5
7		17	金	2	Module 2 Review / Testing a hypothesis		1, 2, 3, 5
8		17	金	3	Module 2 Review / Testing a hypothesis		1, 2, 3, 5
9	10	1	金	2	Module 2 Practice Test / Presentation skills 2		1, 2, 3, 5

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
10	10	1	金	3	Module 2 Practice Test / Presentation skills 2	William Hassett Chris Smith John McInnes	1, 2, 3, 5
11		8	金	2	Module 3 Review / Presentation 2		1, 2, 3, 5
12		8	金	3	Module 3 Review / Presentation 2		1, 2, 3, 5
13		22	金	2	Module 3 Practice Test / Final presentations		1, 2, 3, 5
14		22	金	3	Module 3 Practice Test / Final presentations		1, 2, 3, 5

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

定期試験（75%）、TOEFLテスト（10%）、および出席状況（10%）・授業態度（5%）をもとに決める。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

各担当教員に確認すること。

VIII. 質問への対応方法

基本的には随時受け付ける。

## IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	

## X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートおよび課題提出時の授業などで適宜フィードバックを行う。

## XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

事前：詳細についてはシラバス別冊に記載する。なお，特に記載のない場合はシラバス別冊の要点を確認すること。  
 (所要時間の目安：20分)

事後：シラバス別冊に記載する。なお，特に記載のない場合は講義内容をまとめておくこと。(所要時間の目安：30分)

## XII. コアカリ記号・番号

A-7-2) Contribution to international medical care